

ローカルルール

球がラテラル・ウォーターハザード内にあるか、見つからない球がウォーターハザード内にあることが分かっているか、ほぼ確実な場合、プレイヤーは次の処置のいずれかをとることができる。

(i)規則26に基づく処置。

(ii)追加の選択肢として1打の罰のもとに球をドロップ区域にドロップ。

追加

注：ドロップ区域を使用する場合、球のドロップまたは再ドロップに関しては次の規定が適用となる。

(a)プレイヤーは球をドロップする際にドロップ区域内に立つ必

要はない。

(b)ドロップされた球はドロップ区域内のコース上の箇所最初に落ちなければならない。

(c)ドロップ区域が線で定められている場合、その線はドロップ区域内である。

(d)ドロップされた球はドロップ区域内に止まる必要はない。

(e)ドロップされた球が規則20-2c(i-vi)に規定されている場所に転がりこんで止まった場合、再ドロップしなければならない。

(f)ドロップされた球はその球がコース上に最初に落ちた箇所から2クラブレンジ以内に止まり、(e)で規定される所に止まらなければ、ホールに近づいて転がってもよい。

(g)(e)と(f)の規定のもとで、ドロップされた球は次の場所よりもホ

ールに近づいて転がりこんで止まってもよい。

●初めの位置または推定された位置(規則20-2b参照)；

●救済のニヤレストポイントまたは最大限の救済を受ける地点
(規則24-2、規則25-1または規則25-3)；

●初めの球がウォーターハザードまたはラテラル・ウォーターハザードの限界を最後に横切った地点(規則26-1)

競技委員長